

『神様の願いごと』

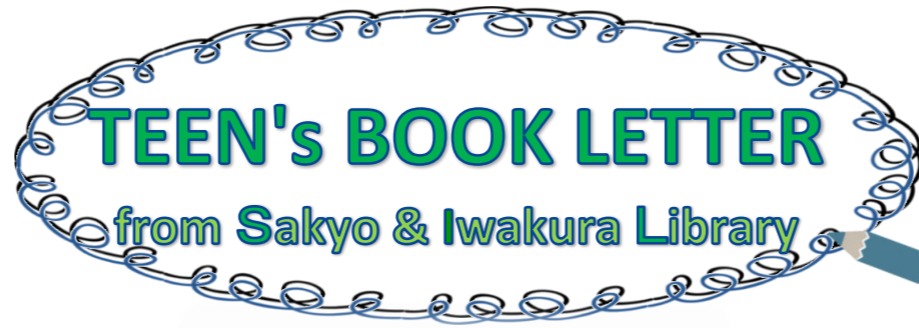
沖田 円／著 スターツ出版

「あなたの夢は何ですか？」と聞かれたら、どう答えますか？

即答できる人、ぼんやりと思いつかなくてはいない人、何にも考えつかない人……。

高校2年生の千世は、進路希望調査票に何にも記入できないでいました。

そんな時、偶然、雨宿りに入った神社で、その神様だという常葉に「夢が見つかるまで神社の仕事を手伝うこと」を命じられます。胡散臭いと思いつつ、手伝う千世。様々な人との出会いのなかで千世はどんな夢を見つけるのでしょうか。



不思議への扉

『空飛ぶくじら部』

石川 宏千花／著 PHP研究所



同じ中学校に通う鰐淵頼子と犬走凧人は、幼稚園時代からの幼なじみで、やっかいな現象に巻き込まれる因縁の相手同士。ぼあああ……と、空飛ぶくじらはいつも突然現れ、二人をさらってどこかへ降ろす。時間が止まり、まわりの人たちの動きが止まると、様々な時代にタイムスリップして、二人は見知らぬ場所で生き抜かなければならない。

いきなり始まるこの奇妙な旅は、どこまで続くのだろうか？

『奇跡の論文図鑑 ありえないネタを、クリエイティブに！』

NHK「ろんぶ〜ん」制作班／編著 NHK出版

「カレーとラーメンはどっちが人気？」「猫に思い出はあるの？」などなどの疑問に、研究者たちが全力で挑んだ論文が紹介されています。

論文というと、ちょっと難しく感じてしまうかもしれませんが、でも、問いのきっかけは、意外と日常的だったりするんです。そこから、どうやって実験・検証していくかが研究の肝。

「そこに目をつけるか！」「そんな方法で？」と、驚くポイントがたくさん詰まっています。

ひょっとしたら、あなたが日常で感じた「不思議」を解明するヒントが隠されているかもしれませんよ。



なかなか日々の生活が
思うようにいかない今日この頃。
思い切って、
現実から離れた不思議な世界へ旅立ったり、
日常の新しい面を観察したりしてみませんか。
本の世界は、
いつだってあなたを待っています。

『カモメに飛ぶことを教えた猫』

ルイス・セプルベダ／著 河野 万里子／訳 白水社



銀色のつばさのカモメのケンガーは、ハンブルクのとあるバルコニーに墜落してしまう。死を前にしたケンガーは、これから産み落とす卵を黒猫のゾルバに託すことにするが、その前に三つの厳粛な誓いをゾルバに立てさせる。その誓いは、猫のゾルバにとっては、無理難題のようなもので……。猫がカモメに飛ぶことを教える？ いったいどうやって？ 猫とカモメ、異なる種の温かな心の交流を描いた不思議な友情の物語。

『雨ふる本屋』

日向 理恵子／作 吉田 尚令／絵 童心社

雨の日。主人公のルウ子がかたつむりを追いかけているうちに、図書館に迷い込んでしまいます。そこでたどり着いたのが「雨ふる本屋」。ここにありの本はね、人間にわすれられた物語と、それから雨でできているのよ。

なんて不可思議な本屋なのでしょう！

大好きなお母さんを妹に独り占めされているような寂しさを持っていた、ルウ子の心の変化もしっかり描かれていて、最後はあたたかい気持ちになる物語です。



『目でみる数字』

岡部 敬史／文 山出 高士／写真 東京書籍



時間の表示からお金の計算にいたるまで、生活には数字があふれています。しかし、それ以外にも、日常にはたくさんの数字がかくれています。そんな数字を実際にはかってみると……？

こんな不思議な写真を一緒に紹介するのがこちらの本。長さ・重さ・時間の意外な事実との出会いがあるかも。

京都市左京図書館

住所 〒606-8103 京都市左京区高野西開町5
電話番号 075-722-4032
開館時間 平日 午前9時30分～午後7時(当面の間)
土・日・祝日 午前9時30分～午後5時
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館時間など変更する場合があります。

京都市岩倉図書館

住所 〒606-0013 京都市左京区岩倉下在地町16
電話番号 075-702-8510
開館時間 月・木 午前9時30分～午後7時
水・金・土・日・祝日 午前9時30分～午後5時

休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日) 年末・年始(12月28日～1月4日)

